

写真 1.2 カゾキグループ (参加者 36 名 10 月 24-28 日実施 施工距離 68m)



2007 年の大統領選挙後の暴動後、新たに設置された警察署の入り口付近の補修が行われました。警察署の緊急車両の出入りがスムーズに行えるよう排水路を整備し、土のうを埋設し路盤を固め路面を平らにしました。作業ツールの保管など警察署からの協力の下、作業が進められました(写真 1)。

写真 3.4 ジャシヨコアグループ (参加者 36 名 10 月 31-11 月 1 日実施 施工距離 80m)



子供達が通学に使う集落内の道の補修を行いました。雨が連続すると側溝から水があふれ道全体が沼のようなため、現在ある側溝をさらに深くし、石を使って水が道を横切るドリフトを新たに設置しました(写真 3)。

写真 5.6 エベソグループ (参加者 38 名 11 月 21-25 日実施 施工距離 102m)



傾斜で粘土質の土壌のため、雨期にトマトやキャベツなどの農産物を積んだローリーがスタックする場所を中心に道の補修が行われました。排水路を確保し、傾斜地にマラムを敷き固め路面をすべりにくくしました。

写真 7.8 クカダグループ (参加者 36 名 11 月 28-29 日、12 月 14-16 日実施 施工距離 60.8m)



雨期は水がたまり沼地になるため、通学の子供たちや自転車、バイクは手作りの橋を渡って通行していました(写真 7)。隣接する畑の地主の許可を取り新たに排水路を設置、石を使ったドリフトで排水を改善し雨期の車両の通行を可能にしました。

写真 9.10 ランガス カゾキグループ (参加者 33 名 1 月 30 日-2 月 3 日実施 施工距離 196m)



教会や学校が集中し通勤や通学のため多くの人を利用する道を、若者が中心のグループが修繕しました。家庭からの排水も流れ込む側溝や土管のクリアリングも行われました。